

学力向上のための重点プラン(中学校)

新宿区立西早稲田中学校

学校の共通目標

基礎、基本の習得(ユニバーサルデザイン)	(5月・11月・2月)
----------------------	-------------

各教科等の取組み内容

上段＝中間評価、下段＝最終評価

	方 策	取 組 み 1	取 組 み 2	評 価
国語	・達成感を感じさせる課題提示 ・繰り返しによる基本的な学力の向上	・ワークシートを工夫することにより、どの生徒にも達成感を与える授業を行う。	・漢字の小テストなどを繰り返すことにより、基礎・基本的な学力を身につけさせる。	ワークシートにどの生徒でも答えられる問題を設置したり、生徒同士の教えあいを通して学習意欲の向上に繋げることができている。今後も小テストを継続的に行い意欲・学力の向上を狙うとともに、難易に関わらず問題に取り組む姿勢を育んでいきたい。
		【追加】	【追加】	ワークシートの工夫や小テストの繰り返しによって、課題への達成感や基礎基本の定着を図ることができた。今後は、日本語が母語ではない生徒にもやるべきことがわかりやすいワークシートづくりなどを工夫していきたい。
社会	・基礎的・基本的な知識の定着 ・基礎的・基本的な技能の定着 ・繰り返し学習	基礎的・基本的な知識や技能の定着のため、授業の導入で小テストや資料の読み取りを行う。	基礎的・基本的な知識や技能の定着のために家庭での課題を与える。プリントなどは、誰でも見やすく分かりやすいものを作成する。	・小テスト、家庭での課題、授業でのプリント作成などを通し、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ることができている。一方で継続して取り組みにくい生徒や授業への意欲関心が低い生徒もあり、そうした生徒も積極的に取り組める指導を行っていく。
				・ほとんどの生徒が基礎基本の定着ができつつある。しかし、継続して取り組みにくい、意欲関心が低い生徒もいる。そうした生徒へ、基礎基本の定着をめざすにはどのようなアプローチが必要か、授業改善、課題の内容・出し方などの工夫を行っていく。
数学	・授業習慣の確立 ・繰り返し学習 ・個に応じた指導	・学習習慣の確立と基礎学力の定着のため、授業の復習の小テストを授業内で行う。	・習熟度別少人数授業やTTにより、個人の理解の状況に応じた指導を行う。	小テストをさせることで、復習の習慣が身に付いた生徒が多くみられる。身についていない生徒への支援が必要である。習熟度別少人数授業に関してはクラス編成の工夫を行う。
				各学年の生徒の状況に応じて指導を行い、学習習慣の確立と基礎学力の定着を行えた。習熟度別少人数のクラス分けや指導方法の工夫により個に応じた指導ができた。
理科	・授業規律の定着 ・体験的な学習 ・習熟度に合わせた指導	・思考、技能を高めるため、実験観察活動において、個人、班単位の少人数実験を多く行う。	・意欲的に取り組む生徒に、発展的な内容や基礎力向上のワークシートを個に応じて与え、理解を深める指導を行う。	・体験的な学習を多く実施することで思考・技能のみならず、意欲的に学習に取り組む生徒が増えた。 ・発展的な内容を行うための基礎学力の定着が求められる。
				・体験的な学習を多く実施し、実験における技能の向上がみられた。考察における科学的な思考を高めるための発問や授業展開の改善を行っていく。
音楽	・個に応じた指導 ・ICTの活用	・一人ひとりの習熟度に合わせた指導をし、苦手意識をなくし、自己の成長や集団で取り組むことの喜びを実感できる授業を行う。	実物投影機や、パワーポイントなどを活用し、視覚的に分かりやすく、意欲が向上する指導を行う。	・一人ひとりの実態に合わせた指導を行うことで、課題意識を持って取り組んでいる生徒が増えた。音楽に対する苦手意識を持つ生徒もまだ多く、今後も引き続き指導の徹底、改善を行う必要がある。 ・実物投影機、パワーポイントを活用することで、活動にスムーズに取り組める生徒が増えている。
				一人ひとりの実態に合わせた指導、また興味関心が高まるような題材を多く扱い、生徒の意欲高めることができた。ICT機器を多く活用し、視覚的に分かりやすい授業を行えた。
美術	・ワークシート ・小課題	「アートファイル」を授業の初めに配布し、美術への関心をひきだす。	色彩ワークシートや、文様ワークシートを配布し、基礎的な技能の定着を図る。また、鑑賞レポートを行い、鑑賞の能力の定着を図る。	ワークシートによる、技能単体での課題は一定の効果あげた。また、鑑賞レポートは、生徒自身が関心のあるものを取り上げ、モチベーションを高く持って取り組むことができた。アートファイルについては、カラー印刷ができればさらに生徒の関心をひきつけ、効果が高まると思われる。
				ワークシートや、定期テストでの実技の予習は、技能のポイントの学習に効果をあげた。また、鑑賞に関しても、鑑賞レポートが効果をあげた。一方で、アートファイルは、制作と関連づけて授業のなかで紹介していくことが効果的であった。
保健体育	毎時間のランニングや補強運動の必要性を理解し、基礎体力の向上を図る。	授業時間内の準備運動と補強運動(柔軟運動も含む)、ランニングを主体的に行う。	単元が終わるごとに持久走を行い、体力向上への意識を高める。	毎時間のランニングを600mに設定し、実施しているが、遅れる生徒は、ほとんど見られなくなってきた。持久走も4回実施し、自己ベストを更新する生徒も増えてきた。体力は着実に向上する方向に向かっている。柔軟性に関しては、まだまだ意識が低い。引き続き意識を高めていきたい。
				体力テストの結果から、男子は、持久力で都の平均を上回ってきたが、柔軟性が平均より下である。女子は握力、ソフトボール投げ以外は、都の平均を下回っている。持久力向上に向けた対策は引き続き行いつつ、その他の体力向上を目指し、補強運動の種目を増やしていきたい。
技術・家庭	実践的、体験的な学習活動を通じ、基礎的、基本的な知識、技能を習得させる。	一人ひとりの技量に応じたきめ細かな指導を行う。	生徒の実態に即した教材を扱い、実物投影機等を用い、教材提示を工夫する。	机間指導と、授業ごとに作品を確認し、生徒の作業状況を把握している。工程チェック表等を用いてフィードバックを行っている。実物投影機は作業内容をわかりやすく示すことができ、また、優秀作品をみせることで意欲につながるようである。
		【追加】	【追加】	1時間の授業でできたところ、できなかったところをフィードバックし、個別指導を行うことで、基礎的、基本的な技能を習得させることができた。今後も取り組みたい。また、生徒の実態に即し、教材作成を行い、スモールステップで授業を進めたことも、授業内容に関心をもたせ、確実な知識の習得につながった。
英語	既習事項を繰り返し確認し、実践的なコミュニケーションの定着を図る。	スプリングコンテスト、単語テスト	表現活動(スキット作成・発表、スピーチ、show&tellなど)	単語テスト等小テストを定期的実施できている。表現活動の取り組みにおいては、個人・ペアでの発表を行っている。ていねいにインプットを行い、さらに表現力をつけるよう取組中である。
		【追加】	【追加】	単語テストやリスニングなどの小テストを定期的に行えた。また、インプットした言語材料を用いて個人やペアでの発表を積極的に多く行い、英語に対する理解力がついた。今後は発表文章量を増やしていきたい。
特別支援学級				